

一般質問…ここが論点

3月定例会

3月市議会定例会中、2日、3日の2日間で、4人の議員が会派を代表して質問し、5人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

蒲郡市政クラブ
代表 波多野 努

平成23年度の財政状況について

問 今後の市税収入をどのように見込んでいるか

答 景気低迷による賃金水準の低下などにより、

個人市民税は今後も減少傾向が続く。法人市民税も急激な増加は期待できない。固定資産税も横ばいと見込んでいる。

問 市税以外の財源の見通しは。

答 国庫支出金、県支出金、地方交付税等は23年度と同等の額を24年度以降見



ボートレース蒲郡

込むことは難しい。競艇事業からの繰出金については、施設改善の工事期間中であっても15億円から20億円程度は確保できるのではと期待している。

問 東三河地方税滞納整理機構の組織概要は。

答 県及び東三河5市と設

概ね50万円以上の高額・困難案件の処理を行う。愛知県東三河県税事務所、事務局を設け、運営委員会、滞納整理班が置かれる。

施設ダム事業について

問 個別ダム検証に係る検討作業の状況は。

答 ダムにかかわる複数の治水対策案や新規利水の観点からの検討等が行われている。県及び関係5市1町の発言は、検証作業を早期に終え、計画どおり設楽ダムが建設されることを望むものである。

名鉄西尾・蒲郡線の存続支援について

名鉄電車



問 全体の支援額及び負担割合はどうか。

答 最終的に、名鉄西尾・蒲郡線は、道路と同様の社会基盤として捉え、費用を支援していくことで合意された。支援額については、毎年2億5千万円を23年度から25年度の3カ年間支出、本市の負担額は毎年9千9百万円余りとなる。

競艇の施設改善、収益金の確保について

問 施設改善工事の完了までのスケジュールは。

答 23年度末までに工事をしながらレースが開催

できるよう仮設工事を行い、24年10月までにスタンド等を解体し、26年3月末をめどに新スタンドの建設、中央館の改修、27年3月末に完了の予定である。

問 工事費は全体で90億円の継続費計上だが、地元業者への配慮はどうか。

答 下請けも含め参入できる工種を考えながら、少しでも地元業者に仕事が回っていくよう発注方法を検討している段階である。

問 23年度の売り上げ見込みと収益見込みは。

答 売り上げは192日開催で合計700億円、収益は、19億円程度を見込んでいる。

福祉の充実に向けての施策は

問 低年齢児保育を拡大する保育園及び人数は。

答 低年齢児の23年度入所見込みは市内18保育園で301人、22年度当初と比較し39人増で増加の一途をたどっている。23年度建設予定の南部保育園も、新たに0歳から2歳児クラス